

アイディップ OG-21

亜鉛めっき用 緑色クロメート剤



株式会社アイコー

<特長>

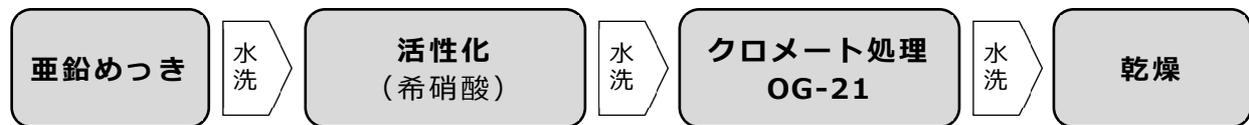
- ◇ 均一で光沢のある緑色、もしくは黒っぽい濃緑色のクロメート皮膜が得られます。
- ◇ 補給により安定した色調が継続して得られます。
- ◇ 耐食性が良好で、塩水噴霧試験では 96 時間以上白錆の発生がありません。

<使用方法>

	範囲	標準
アイディップ OG-21 濃度	35~40mL/L	35mL/L
処理時間	45~75 秒	60 秒
処理温度	20~35℃	25℃
pH	0.75~1.0 * 建浴濃度 35mL/L の場合 : pH0.8~1.0 * 建浴濃度 40mL/L の場合 : pH0.75~0.95	0.9

処理槽 : 塩化ビニル槽、ポリエチレン槽、ステンレス槽など

<処理工程>



- * 亜鉛めっきの厚みは、少なくとも 5 μ m 以上必要です。
- * 希硝酸での活性化は、3~8mL/L の濃度で 10~30 秒行います。もしくは硫酸 5~10mL/L が最良です。
この活性化液が次工程のクロメート処理に混入すると緑色が出にくくなりますので、活性化後の水洗を十分に行ってください。
- * クロメート処理~水洗の空中放置時間と水洗時間は、皮膜の光沢度に影響が出たり、色ムラやシミ発生の原因になることがありますので注意してください。
- * 乾燥は 60℃以下で行うのが良好です。

<管理方法>

- ◇ アイディップ OG-21 の濃度
 - * 処理面積 0.8~2.0dm² あたり 1mL を基本に補給してください。
 - * 濃度が低いと干渉色が多くなり、濃度が高いとシミがでます。干渉色が多い場合は、OG-21 を補給してください。また、黄色のクロメート皮膜の場合は濃度が高いので水で希釈してください。
 - * 補給を繰り返して長期間使用すると、処理液中の亜鉛が蓄積されて回復が悪くなり、補給量が多くなります。一般に、補給量が建浴量に近くなったときが再建浴の時期です。
- ◇ アイディップ OG-21 の pH
 - * OG-21 を 5mL/L 補給した場合、pH は 0.09~0.1 下がります。

◇アイディップ OG-21 の処理時間

* 処理時間が短いと干渉色が出やすくなります。処理時間が長いと干渉色は出にくくなりますが、めっきの厚みが薄くなります。また、高濃度の処理液で短時間での処理はお薦めしません。

◇アイディップ OG-21 の温度

* 新建浴の場合、処理温度は 25℃前後にしてください。
* 処理温度が低いと黒っぽくなり干渉色が多くなります。処理温度が高いと皮膜の色が明るくなり、曇りがでることがあります。

◇その他

* 処理液を攪拌しない場合、着色速度が遅くなって光沢が低下します。攪拌が強すぎると色ムラが生じることがあります。
* 処理中の品物同士の擦れが激しいと皮膜に傷が生じることがあります。また、品物同士が重なっていると色ムラの原因になることがありますので注意が必要です。

<性状>

外観 : 暗赤色液体
比重 : 1.35~1.45

<注意事項>

取扱いの際は保護具を着用してください。
眼に入れたりしないように注意してください。万一、眼や皮膚に付着した場合は多量の水で洗い流し、医師の手当を受けてください。
その他、安全データシートをよく読んでから使用してください。

<荷姿>

25kg ポリ容器



株式会社アイコー

<http://www.aikoh-japan.com>

本 社 〒335-0033 埼玉県戸田市笹目北町13番地23
TEL: 048-421-8600 FAX: 048-485-8612
大 阪 営 業 所 〒581-0061 大阪府八尾市春日町3丁目2番10号B
TEL: 090-6915-1888 FAX: 072-920-7999
TEL: 090-1406-2068